

# Rotary Yachiyo

UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために手を取りあおう



2025-26 年度国際ロータリーメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

2025-26 年度クラブテーマ

「親睦が原点」

## 週報 第2824回

2026年2月6日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

**今回例会行事** テーマ：ふらっとホーム開始の契機と現状の活動  
担当：社会奉仕委員会 卓話者：社会法人翠耀会 小川洋子様

**次回例会** テーマ：やきもの「染付け・呉須」について  
担当：社会奉仕委員会 卓話者：永田勝久会員

◆◆◆第2823回例会◆◆◆

え、応援していければと思います。

司会 谷田貝 彰

幹事報告

幹事 朝戸健夫

「奉仕の理想」「たきび」 斉唱

### お客様

三谷大和スポーツジム 会長 三谷大和様  
小林鷹之会員 令夫人 小林秋津様

会長挨拶 会長 中島貞好

改めまして、皆さまこんにちは。  
志を同じくする仲間が、今週火曜日に出陣式を迎えたことをご報告申し上げます。  
小林鷹之会員は現在、多忙な日々を送りながら全国を奔走しておられます。そのため、私たちの会合にもなかなか出席が叶わない状況ではありますが、本日はお忙しい中、奥様にお越しいただきました。後ほど、少しお話をいただければと思います。  
小林会員は、「奉仕とは何か」「地域と社会に何を残せるのか」という問いを常に持ち、私たちと志を同じくする同志であります。現在は政調会長に任命され、その立場からも日々尽力されています。火曜日の出陣式では、最後に声が枯れるほどの熱意ある言葉で、多くの方々に思いを伝えておられました。その姿からは、強い覚悟と責任感が感じられ、私自身も深く心を打たれました。ここでは詳しい話は控えますが、私たちの大切な仲間である小林会員の今後の健闘を、心より祈念いたします。集う私たち同志で、挑戦を続ける仲間を支

・地区から財団室 NEWS、コーディネーターニュースが届いております。

他クラブ 2月例会日変更のお知らせ

習志野RC 11 休会・25 炉辺談話

習志野中央RC 26 夜間移動例会

八千代中央RC 10・24 休会

佐倉中央RC 11 休会・25 夜間例会

小林鷹之会員 令夫人 小林秋津様



小林鷹之の妻でございます。本来であれば、小林会員本人が皆さまのお仲間としてこの場に参加すべきところではございますが、先ほどご案内のとおり、現在は各地を飛び回っており、本日は私が代理として参らせていただきました。小林は、この八千代の町が大好きで、八千代の人々が大好きです。八千代で採れるお米や野菜、そして空気や空、この町の全てを心から愛しております。本来であれば、選挙期間中も八千代に張り

付き、皆さまと直接お会いしたいという思いでおりますが、それが叶わない状況に、本人も歯がゆい思いを抱いております。その思いを胸に、この地域のために何ができるのかを常に考え、志をしっかりと立て、これからは精一杯努めてまいります。

今回の選挙は、これまでとは構図も変わり、また冬の選挙ということもあり、ご高齢の方にとっては足を運びにくい面もあるかと思っております。ぜひ期日前投票などもご活用いただき、小林を応援していただけたら幸いです。「大丈夫だろう」とのお声をいただくたびに、本人も私も身の引き締まる思いしております。決して油断のできない状況でございます。仲間であり同志である皆さまに、本人に成り代わりまして、心よりお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

## 委員会報告

### 親睦活動委員会 委員長 佐々木俊

クリスマス家族会の写真を配布しました。小村会員が綺麗に撮影して下さいました。

## お祝い

本人誕生日：遠藤会員  
結婚記念日：宮野会員・齋藤敏夫会員  
稲山会員  
夫人誕生日：葉山玲子様

## 例会行事 社会奉仕委員会 幹事 朝戸健夫

本日は三谷ボクシングジムの梅津奨利選手がタイトル防衛という事で、三谷会長にチャンピオンベルトをお持ち頂きました。

## テーマ：千葉を元気に

### 八千代から世界チャンピオン 卓話者：三谷大和スポーツジム 会長 三谷大和様

皆さまの本当に温かい応援のおかげで、私が八千代でジムを始めて23年目にして、ついに初の日本チャンピオンを誕生させることができました。心より感謝申し上げます。私は、八千代台の踏切の近くで23年間ボクシングジムを続けてきました。年に一度、八千代でボクシング興行を開催し、少年少女合唱団の皆さんともご一緒しながら、地域に根ざした活動を続けてまいりました。新人王は5人、6人と輩出してきましたが、「日本一」というタイトルはなかなか手が届かず、人を育てることの難しさを、23年と



いう時間をかけて学ばせていただきました。本日は、梅津奨利選手の話に入る前に、私がなぜボクシングジムを始めたのか、その原点についてお話しさせていただきます。

私はもともと、教員になることが夢でした。どうしても体育の先生になって、子どもと一緒に頑張りたいという気持ちがありました。中学生の頃は、やんちゃな時期もありました。ボクシングと空手をやっていたので、上級生から狙われてしまって喧嘩をうられる時代がありました。どうしても負けたくないの、学校に行くのは毎日タイトマッチのような気持ちになっていた時代がありました。生活指導の先生に昨日喧嘩があったみたいだけどお前か？と取り調べみたいに聞かれて、やだなあと思いましたが、数学と理科が大好きで、学校には毎日行っておりました。また、陸上部に入ってボクシングのスタミナをつけるために中距離の選手をやっていました。1500mを4分台で走れるぐらいの体力までは持ってきました。でも部活動には年に数回しか行かなくて、家で親父と一緒に走る練習している方がいいなと思っていました。先生方や、大人を信じられない子供になっていました。そんな私ですが、高校の入試の時に、面接官に「三谷君は毎日陸上部で部活を頑張っているんですね。」言われました。まあその時は、やはり学校に受かりたいから、マニュアル通りに答えましたが、心の中では、なんでこうなっているんだろうって思っていました。先生は俺のことを高校に行かせたくないんじゃないの？というふうに、もう変にマイナスの方に思っていた自分がいました。なんとか高校にも入学したのですが、その思いが、どうしても許せなくて、職員室まで行きました。陸上部の顧問の女の先生だったのですが、その先生が私の人生を変えてくれたと私は思っています。その先生に向かって、言いました。「なんで、本当のこと書かないですか？どうせ僕なんか高校に行かせたくないんでしょ」ということを言ったんです。するとその女の先生が机を

バーンと叩いて「私は本当の事を言ったままでです」と言ってくれました。お前は確かに陸上部には年に数回しか来なかったけれど、お前のその目を信じているんだ。その負けず嫌いな目は競技が変わったら絶対やると思っているから。私は本当のことを書いただけ。何か文句があるのか！と言われました。今では考えられない先生です。でもその時僕、泣いちゃったんです。どうして泣いたのかわからないぐらい、涙が出てしまいました。僕のことを見てくれた先生もいたんだという事に気づきました。その先生は自分が家で練習をしたり、走っている事を知っていたみたいです。それで、その先生はその負けず嫌いな目を信じてくれたということに気づきました。そして、その先生が信じてくれたことで僕が救われ、そして先生に恩返しをしたいと思いました。きっと中学生の子供たちや今の子供たちも、迷う時期があるだろうから、その子供たちに僕は教員として何かこう道しるべというか、そっちの道じゃないよ、本当はこっちの道だよ、というように、スポットライトを浴びせることができるような仕事として教員やろうと思いました。そして勉強して、大学に行き教員免許も取りました。ですが、時代が変わっていたとか、熱い先生はそこまで入っちゃいけない時代になってきていて、やはり自分が居るのはここじゃないなという事に気づきました。でも先生との約束、先生に恩返しをしたい気持ちの中で、じゃあ自分で学校を作ろうと思いました。しかし実際に学校は作れないので、ジムを作ってジムを学校に、リングを教室に代え、チョークの代わりにグローブとミットで僕なり子供の教育をしようと考えました。ジムを開いたら、やんちゃな子がたくさん来ると思いましたがやはり時代が違うんですね。登校拒否をする子がたくさん来て、学校には行かないんだけど、ジムには毎日来る。そういう子が9人いました。そして全員学校に行かせました。あまりに熱く語るの、はだして八千代台駅まで逃げた子がいたのですが、僕もはだして追いかけて、抱きかかえ、違うよ！と励ましました。村上の方では夜に中学校に連れて行って、先生と一緒に授業を受けたことあります。そんな子供たちが卒業してくれてよかったなと思います。今その子供たちも立派な大人になって社会で働いていると聞いて、ボクシングの選手ではなかったけど、よかったなと思っております。

迷っている子供たちの中で、今から 17

年前に梅津奨利が、うちの門を叩きました。小学校五年生の10歳です。最初思ったのは、運動神経はいいけど、ちょっと体が硬いかなと言うくらいしにか思いませんでした。ぱっと見た時に、どこまで行くかっているのは大体わかるのですが、そこから奥底っていうのは付き合ってみないと分かりません。第一印象は普通の子かなと思いました。私が1番びっくりしたのは、兄弟で入った時の初めてのスパークリングです。お兄ちゃんが中学二年生、梅津が小学校五年生、中学生と小学生の力は雲泥の差があります。兄弟でのスパークリングは喧嘩になってしまうので、ボクシング界では禁止なのですが、やってみるとお兄ちゃんが強くても簡単に倒されてしまいます。どうするのかなど見ていたら、泣きながら立ち上がってもう一度やらせてくださいと言って向かって、3回倒されてもやらせてくださいと言った時のその子の目を見た時に、これが先生が僕に言ってくれたことだと思いました。あの時の、僕の目っていうのは、この子がボクシングに対する人に負けたくないという気持ちの目だと思いました。そして、その時にこの子を本気で教えてみたいなと思ったのが梅津奨利です。そしてマンツーマンで指導してわずか一年半、中学1年生位の頃に日本一になりました。対戦相手はあの亀田三兄弟のいとこの亀田京之助です。初めて亀田京之助に黒星をつけて日本一になりました。その後、梅津奨利は高校に行きたくないと言ったのですが、高校には行かなきゃダメだ、何がいやなんだ？と聞くと、勉強がわからないというので、私が勉強を教える事にしてジムを塾に変えて、グローブ置いてください、勉強しますと個室で勉強をずっとやっていました。でもそれが嫌だったんでしょね。ジムから逃げてしまい6年間彼はジムから離れました。僕がやりすぎてしまったと思って反省し、とても心配でした。インターネットで見ると、地下格闘技で試合をしていたり、色々なところに彼が出ているのを見ていました。その時は、今の子っていうのは、戻って来いって言っても戻ってこないし、戻ってこいというものでもないなと思って、ずっと年賀状をだしていました。明日のジョーの世界ですね。頑張ってるか？ワンツー打ってるか？走っているか？体壊すなよ。ただそれだけです。それを6年間続けてきました。そうしたら6年目にジムの門に梅津が立っていました。そして「会長、自分もう1回ボクシングやっていいですか」って言ってきました。

その時私は、時間は自分で止めたんだから、動かすのも自分だよ。お前がやるなら、俺は協力するよといいました。そして彼と一緒にもう1回二人三脚を組んでやることができました。ただ、その時に梅田はボクシングをやめて、タバコも吸っていたし、お酒も飲んでいて、体重もすごく増えていました。お前これでやれるのか？と言ったら、たった2週間で8キロ落として、これでいいですかと言ってきました。その時に、こいつ本気だなと思いました。そこからプロになってプロを倒しました。プロテストでKO勝ちはなかなかないですね。1年半で全日本新人王になり、昨年10月25日初の日本チャンピオンになることができました。気づいてみれば、八千代初の日本チャンピオンであり、このベルトは辰吉丈一郎が30年前に巻いてたベルトで、ずっと回していくものです。バンタム級というのは、ファイティング原田さんの時代は黄金のバンタムと言われ、今は令和の花のバンタムと言われ井上尚弥君など日本人が多い階級なので、その階級の中でタイトルを取れたということが、僕の中では嬉しくて、なかなかチャンスが回ってこない中でこのベルトが今、千葉にある、この八千代にあるという事はこれからも守っていきたいと思っています。2月7日に初防衛戦を控えています。今日、本当はチャンピオン連れてきて欲しいというご依頼だったのですが、10日後に試合を控えていますので、私がチャンピオンベルトを持参して、皆さんにも触って、写真も撮っていただければと思っています。

うちのジムはすごくちびっこが多くて、30～40人ぐらいいます。ひょっとしたら全国で一番多いジムかもしれません。子供の時から育てたい気持ちが大きいです。それはなぜかというと、強い八千代っ子を育てたい気持ちが大きくて、強い八千代っ子を育てることこそ、強い八千代という町ができるんじゃないかと思っていました。大人になっていろんなことを教育するよりも、小学生の時にこれはいけない、ちゃんと挨拶しよう、物をもらったら、ありがとうと言おう。

そういうことをちゃんと教えたい。それをボクシングの中で教えていかなきゃいけない。ボクシングというルールの中で、相手があるのスポーツであり、相手に感謝することによって町が強くなると思ってここまでやってきています。今、プロでも日本チャンピオンが生まれましたが、去年はインターハイで3位の選手が1人生まれました。関東チャンピオンの子も小学生が1人と、あと高校生が1人となっています。中学生でも強い子がたくさん生まれてきています。1人強い選手が出ると下もついてくるんだというふうに私は思っています。いつかこの三谷大和スポーツジムというリングの中で子供たちは精神的な強さを学んでいって、いずれ来る社会のリングは八千代の経営者の皆さまにバトンタッチをして強くしていただきたいと思っています。そして強い八千代にして、またその強い人から子供たちが生まれて、その子供たちがまた強い八千代にしていくという、そんなサイクルになっていけばいいと思っています。

### ニコニコ BOX～

¥36,000-

☆本日で86歳となりました。遠藤

☆卓話楽しみです。

鈴木健治・葉山・稲山・佐久間・浅野正敏  
市原・山浦・佐々木・菊川・日下部・江口  
池田・中島貞好・宮野・君塚・上代・安宅  
杉山・朝戸

☆梅津選手タイトル獲得おめでとう

安宅・杉山

☆12G7クラブの公式訪問が終了しました。日下部G幹事、支援メンバーの皆さまご協力ありがとうございました。杉山

☆先週ネクタイ忘れました。齋藤敏夫

☆よろしくお願い致します。上村

### 友愛 BOX～

¥16,000-

☆結婚65回目の記念日です。宮野

☆結婚して23年経ちますがまだまだ家内の事はわからない事ばかりです。稲山

☆47回目。50回まで頑張ります。齋藤敏夫

☆誕生祝いありがとう。葉山

近隣クラブ例会日		例会場		会員総数	出席対象者	出席者	%
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフ倶楽部	1/30	54	51	44	86.27
火曜日	八千代中央R.C	ウイシユトンホテル・ユーカリ					
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館					
水曜日	佐倉中央R.C	ウイシユトンホテル・ユーカリ 最終オリバート夜間					
木曜日	佐倉R.C	佐倉商工会議所					
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館					

2月のロータリーレート1ドル¥154-

■クラブ広報委員会 委員長：花島文成 副委員長：寺沢一三

■出席委員長：大曾根 直※欠席の際は必ず月曜日迄に出席委員長に連絡して下さい

■例会日：金曜日 12:30～13:30

■例会場：パツ・ウヰータ(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ1F:FAX047-450-0050)